

06 知識・技能を身に付ける

取組事例
19

森のせんせいと一緒に森や木について楽しく学んでキーホルダーをつくらう！！

徳和住民自治協議会 小学1～5年生



森の役割や大切さについて学んでいる様子

実施時期	令和5年8月
実施場所	徳和地区コミュニティセンター
時間	2時間
対象・人数	小学1～5年生 13人
講師	森のせんせい2人 (森林環境教育機構)
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06 知識・技能を身に付ける（ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ）
ねらい	森の役割や大切さを学ぶ
内容	・ 森のはなしやクイズを通して、森の役割や大切さについて学ぶ ・ 丸太からキーホルダーをつくる体験を通して、ノコギリの使い方を知り、木の香りやぬくもりを感じる
学習指導要領との関連	森林資源のはたらき（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、森林資源と木材生産、森林と人々の暮らし（小学5年生社会科）、水の作用（土砂運搬）（小学5年生理科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



電熱ペンを使ってキーホルダーづくりをしている様子



ノコギリの使い方を学んでいる様子



キリでキーホルダーの穴をあけている様子

子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森のせんせいのお話をみんな一生懸命聞き、クイズにも楽しそうに答えていました。 ・ キーホルダー作りもみんなで和気あいあいと作っていました。 ・ 「楽しかった。」と、自分が作ったキーホルダーを見せ合いながら話をしていました。
主催者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。 ・ 多学年との交流もできてよかったです。森や木についてより身近に感じてもらえる機会になりました。